校長室だより（２６）　H30.7.20.金

熊商の日々の教育活動　～　志高く、恕と信頼の人づくり　～

熊本県立熊本商業高等学校　校長　　郷　慶次

◆　ホウキを握る、雑巾を手に取る

生徒の皆さんの姿を見て「良いなあ」と感じる時があります。

・始業前、ホウキを握り玄関や階段を掃いている部活動の生徒たち
・放課後、教室に一人残って黙々と勉強している生徒
・進路資料室、友人と一緒に熱心に調べものをしている生徒たち
・進学や公務員の朝課外、先生の言葉を聞き漏らさないように聞いている生徒たち、…

生徒一人の時もあれば友人と一緒、あるいは先生の指導が行われている時など校内のいろいろな場面で「良いなあ」と感じます。それは、生徒の皆さんが率先して、積極的に、自主的に行動しているからであり、懸命に、精一杯、真剣に打ち込んでいる表情も見えるからです。

例えば、毎日の掃除の時間はホウキで掃く生徒、雑巾で床の黒ずみを消す作業をしている生徒、窓を磨いている生徒、ハンドソープやトイレットペーパーを運んでいる生徒など遊んでいる生徒もおらず、全校生徒が掃除に集中している光景があり「良いなあ」と感心しています。掃除の時間など指示がなくても行動できる生徒たち。２学期はどういう姿を見せてくれるのか、次の段階を楽しみにしたいと思っています。

（写真：7/4(水)朝、玄関付近をホウキで掃いているサッカー部の生徒たち）

◆　意見を述べ合う研究授業

７月９日（月）、４クラスで研究授業が行われました。

・２年９組山口先生「現代社会」
・１年８組杉本先生「情報処理」
・３年６組小車先生「政治・経済」
・３年６組木庭先生「管理会計」

平等に生きる権利について意見を交わしたり、タブレットに表示されたグラフを分析し合ったりするなどグループ学習が取り入れられていました。自らの意見をしっかり述べ、周りの人と意見を交わすことは、社会に出てからも大事なことです。何歳になっても学ぶ姿勢を持ち、社会で活躍し、賢く、豊かな生活を送ることにつながるとも思っています。

◆　１学期に校長室に来てくれた生徒たち

県大会を勝ち抜いて九州大会や全国大会に出場する部活動の生徒、県の事業で夏休み中に海外研修に参加する生徒が校長室に挨拶に来てくれました。最高の結果と貴重な体験となることを願っています。

（写真：ソフトボール部、陸上部、珠算部、水泳部、簿記部、書道部、熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業に参加する生徒）